

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	光文書院

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・より深く考えさせたい内容を「重点主題」として、複数時間で繰り返し扱うように配列が工夫されている。特に全学年で「生命の尊重」を重視する構成がされている。 ・価値への導入「問いをもつ」、脚注部の吹き出しで「考える」、終末で「まとめる」、発展として「広げる」コーナーが位置付けられ、深く考える活動を促す構成となるように配慮されている。 ・学習したことをやってみることや、日常生活に生かす活動、考えを深め広げるための調査活動を提案して、道徳的行為につながるための体験的な学習が展開できるように配慮されている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツや震災関連など、児童が問題意識をもつ内容をはじめ、いじめや情報モラルは、全学年に複数回設定されている。教材の他にもコラムとして掲載されていて、日常生活の実践へとつなげられるように十分配慮されている。 ・全学年の巻頭に「いろいろな場面で」のコーナーを設け、道徳の時間だけでなく、家庭や地域など、日常の実践に結びつけることができるように工夫されている。
3 上記の他、学習指導要領に示された内容や内容の取扱にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科・多領域との関連のある資料が全学年で複数回取り上げられ、学校行事や学年の活動、教科と関連付けて指導できるように配慮されている。
4 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと岐阜に関連する資料として、5年生の教材で「世界文化遺産白川郷」、6年生の教材で「杉原千畝」が取り上げられている。伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる教材は、各学年で取り上げられている。
5 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷は鮮明で、学年に応じた文字の大きさや行間である。挿絵も見やすく、写真も効果的である。 ・目次に4つの視点と、重点主題が一目で分かるように、ユニバーサルデザイン化されている。巻頭に道徳の教科の特質が書かれていて、導入で扱いやすい。巻末に「学びの足あと」があり、振り返りやまとめをするコーナーとして、評価にも役立つようになっている。
6 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達の段階を踏まえて、より深く考えさせたい内容を「重点主題」として、複数時間で繰り返し扱うように教材の配列がされている。 ・いじめや情報モラルなどの問題は、全学年に複数回取り上げられておりコラムとの関連も効果的に図られている。児童が問題意識をもって多面的・多角的に考え、主体的な態度の育成が図られるように配慮されている。 ・「広げる」によって家庭や地域との関わりを促したり、他教科との関連を図る構成がされている。

